

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

1) X は、 x_1, x_2, \dots, x_n という値をとる確率が、それぞれ p_1, p_2, \dots, p_n あるような確率変数であるとする。このとき、期待値 $E(X)$ は $E(X) = \sum_{k=1}^n x_k p_k$ で定義されるのであった。いま、 a, b を定数とするとき、 $aX + b$ とは下のような確率分布をもつ確率変数であると定義される。

$aX + b$	$ax_1 + b$	$ax_2 + b$	\cdots	$ax_k + b$	\cdots	$ax_n + b$	計
P	p_1	p_2	\cdots	p_k	\cdots	p_n	1

a) $aX + b$ の期待値 $E(aX + b)$ を求めよ。

$$\begin{aligned} E(ax+b) &= \sum_{k=1}^n (ax_k+b)p_k \\ &= \sum_{k=1}^n ax_k p_k + \sum_{k=1}^n b p_k \\ &= \underbrace{a \sum_{k=1}^n x_k p_k}_{E(X)} + b \underbrace{\sum_{k=1}^n p_k}_1 = aE(X) + b \end{aligned}$$

b) 確率変数 X の分散 $V(X)$ について $V(X) = E(X^2) - E(X)^2$ が成り立つことと、a) の結果を用い、

$V(aX + b)$ を求めよ。[ヒント: $E((aX + b)^2) = E(a^2 X^2 + 2abX + b^2)$ であることに注意せよ。]

$$\begin{aligned} V(ax+b) &= E((ax+b)^2) - E(ax+b)^2 \\ &= E(a^2 X^2 + 2abX + b^2) - (aE(X)+b)^2 \quad (\text{a)より}) \\ &= a^2 E(X^2) + 2abE(X) + b^2 - (a^2 E(X)^2 + 2abE(X) + b^2) \\ &= a^2(E(X^2) - E(X)^2) \\ &= a^2 V(X) \end{aligned}$$

2) a) 1個のさいころを投げるとき、出る目の数 X の平均と分散を求めよ。

$$\begin{aligned} E(X) &= 1 \times \frac{1}{6} + 2 \times \frac{1}{6} + \cdots + 6 \times \frac{1}{6} \\ &= \frac{1}{6}(1+2+\cdots+6) = \frac{21}{6} = \frac{7}{2} (= 3.5) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V(X) &= E(X^2) - E(X)^2 \\ &= \frac{1}{6}(1^2 + 2^2 + \cdots + 6^2) - \left(\frac{7}{2}\right)^2 \\ &= \frac{91}{6} - \frac{49}{4} = \frac{35}{12} \quad (\div 2.917) \end{aligned}$$

b) 1個のさいころを投げて、出た目の数だけ 100 円硬貨がもらえるゲームで、300 円払ってゲームをするとき、利益 Y の平均と標準偏差を求めよ。

Y と X の間に $Y = 100X - 300$ の関係がある

$$\begin{aligned} E(Y) &= E(100X - 300) = 100E(X) - 300 \\ &= 100 \times \frac{7}{2} - 300 = 50 \text{ (A)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sigma(Y) &= \sigma(100X - 300) = 100\sigma(X) \\ &= 100\sqrt{V(X)} = 100\sqrt{\frac{35}{12}} = \frac{50\sqrt{105}}{3} \quad (\div 170.8) \end{aligned}$$

3) 1枚の硬貨を続けて5回投げるととき、表の出る回数を X とする。

a) 確率変数 X の確率分布を求めよ。

X	0	1	2	3	4	5	計
P	$\frac{1}{32}$	$\frac{5}{32}$	$\frac{10}{32}$	$\frac{10}{32}$	$\frac{5}{32}$	$\frac{1}{32}$	1

b) 確率変数 X の期待値と標準偏差を求めよ。

$$E(X) = 0 \times \frac{1}{32} + 1 \times \frac{5}{32} + 2 \times \frac{10}{32} + 3 \times \frac{10}{32} + 4 \times \frac{5}{32} + 5 \times \frac{1}{32}$$

$$= \frac{1}{32}(5+20+30+20+5) = \frac{80}{32} = \frac{5}{2}$$

$$V(X) = E(X^2) - E(X)^2$$

$$= \frac{1}{32}(0 \times 1 + 1 \times 5 + 4 \times 10 + 9 \times 10 + 16 \times 5 + 25 \times 1) - \left(\frac{5}{2}\right)^2$$

$$= \frac{1}{32} \times 240 - \frac{25}{4} = \frac{5}{4}$$

$$\sigma(X) = \sqrt{V(X)} = \frac{\sqrt{5}}{2}$$

(二項分布 $B(n, p)$ の期待値)
 分散の公式を用いるとすぐに
 計算できようになる

c) 数直線上に針を立て、硬貨を投げて、表が出たら針を正の方向に1だけ動かし、裏が出たら針を負の方向に1だけ動かす。最初に針を原点に立てておき、硬貨を5回投げた後の針の座標を Y とする。 Y を X を用いて表し、 Y の期待値、分散、標準偏差を求めよ。

5回投げた後、表の出た回数だけ正の方向に進み。
 裏の出た回数だけ負の方向に進む

表の出た回数: X , 裏の出た回数: $5-X$

$$Y = X - (5-X)$$

$$= 2X - 5$$

$$E(Y) = E(2X-5) = 2E(X)-5 = 0$$

$$V(Y) = V(2X-5) = 4V(X) = 5$$

$$\sigma(Y) = \sigma(2X-5) = 2\sigma(X) = \sqrt{5}$$